

講義名	教養特講Ⅰ（まちづくり学へのいざない）		
科目区分	教養特講		
担当教員	辻本 乃理子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
現在、わが国の構造的課題である地方・地域創生について各分野から分析・考察を行なう。とりわけ、地域マーケティング、地域ブランド、地域居住(移住)、商業・観光まちづくりなどから地方・地域創生について学習する。また、新たな戦略的視座として注目されている、エリアリノベーション、シティプロモーション、クリエイティブシティ、「関係人口」などについても学習する。

到達目標
地方都市の現状や課題の把握はもとより、地方創生や地域創生へ向けた戦略などについて理解を深めることを最低限の到達目標とする。さらに、新たな戦略的視座として、シティプロモーション戦略や「関係人口」のなどについても理解を深めることを最終的な到達目標とする。

提出課題
授業内でミニレポートの提出や課題などを実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
提出された課題の記述内容の紹介や評価コメントについては、講義中に行う。

評価の基準
学期末試験:70% 講義中に課す小レポート等の課題:30% 課題点は内容の充実度、分量など総合的に判断し採点する。 講義を妨害する行為等がある場合は減点する。

履修にあたっての注意・助言他
<ul style="list-style-type: none"> 教科書に基づいて授業を構成しているので予習することを求める。また、講義内容の理解のために復習の行うこと。 日頃から地方創生や地域創生についてのメディア、新聞報道などの情報を収集して置くことを希望する。 プリントの配布は、講義中に行う。欠席した学生には配布しないので注意すること。 授業計画は、進行状況により多少前後、変更する場合がある。

教科書				
<table border="0"> <tr> <td>・地域創生の戦略と実践</td> <td>濱田他編著</td> <td>晃洋書房</td> <td>2090円</td> </tr> </table>	・地域創生の戦略と実践	濱田他編著	晃洋書房	2090円
・地域創生の戦略と実践	濱田他編著	晃洋書房	2090円	

プリント資料及び参考文献
授業ごとに簡単なレジュメを配布するが、教科書に沿った授業になるので教科書の購入を希望する。

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> イントロダクション（授業計画、成績評価他） 地域創生の概念と戦略的視座 地域創生とマーケティング戦略 地域創生と地域ブランド戦略 地域創生と地域居住戦略 地域創生と地域コミュニティ戦略 商店街再生による地域創生 地域創生と観光まちづくり 地域創生へのツーリズム戦略 地域創生とエリアリノベーション 地域創生とクリエイティブシティ 地域創生における「関係人口」の考察 地域創生と推進主体 講義のまとめ 学期末試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）						
<table border="0"> <tr> <td>ア：PBL（課題解決型学習）</td> </tr> <tr> <td>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</td> </tr> <tr> <td>ウ：ディスカッション、ディベート</td> </tr> <tr> <td>○ エ：グループワーク</td> </tr> <tr> <td>オ：プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>カ：実習、フィールドワーク</td> </tr> </table>	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	ウ：ディスカッション、ディベート	○ エ：グループワーク	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
ア：PBL（課題解決型学習）						
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）						
ウ：ディスカッション、ディベート						
○ エ：グループワーク						
オ：プレゼンテーション						
カ：実習、フィールドワーク						

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
日々変化する社会状況に対して広い視野と関心を持つことを望む。 新聞報道・メディア等で日々報道される国・地方自治体の政策や地域住民の活動について注目し、情報収集しておくこと。教科書に基づいて授業を進めていくので予習をしておくこと。（30時間） 復習は、当日配布のレジュメや板書した内容などをまとめて理解しておくこと。（30時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
学生との対話の時間を設ける方針であるので、教員の問いに対して自分なりの発言ができるように地域創生に関する予習をしておくこと。

実務経験の有無及び活用

備考